

～第10回UDフェア終了して～



(写真1)

9月19日（金）～21日（日）郡山ビッグパレットにて第10回記念ふくしまユニバーサルデザインフェア 交流と発見UD祭が開催されました（写真1会場出入口）。

10年間……。当初はどのような内容だったのだろう、と問いをめぐらして見るが。

10年間で、10年かけて確実に県内における意識は変わってきたと思います。

特に今回は、新しい分野での出展があり、すそ野の広がりを感じましたね。

学校関連では、意欲のある取り組みをしている学校が目立っていました。

ブースにて、直接いろいろと伺うと、その思いが伝わってくるんですね。

工業高校の継続的な取り組み（写真2）、大学の新しい研究による成果など、QOLの向上を目指して取り組み等。また、企業にとってもUDの視点が戦略になることを強く感じました。



(写真2)



(写真3)

最終日は、お天気も幸いしてか入場者も多く、これはUDが県民のみなさんに浸透しているからだ、思いたいですね。

さて、協議会も県（生活環境部）のブースにおいて、福島県UD推進協議会のPRと活動などをポスターにて展示（写真3）させていただきました。

また、県より委託され、現在県内でUD活動している、個人・団体の実践事例調査も行い

ました。

回収後の調査票には、課題が見え、またヒントがかくれているように思いました。

直接お話を伺うことで、その取り組む熱意が伝わってきます。

その思いが深ければ、人を動かすのかと。

調査票には、活動の『きっかけ』を書いていただく項目があるのですが、その欄に「時代の流れ」と書いた高校がありました。

確かに、よく聞かれるようになり、大企業に限らず地元の企業も目を向けるようになってきています。UDフェアにくるとそれがよく分かります。モノづくりをする人に、しっかりとらえ直して欲しいと思います。

どこまでいけるのか、未知数ではありますが、少なくとも協議会が「ふくしまのこれから」に、舵取りの役目があることがはっきりしています。

ユニバーサルデザインは、一人ひとりがその能力を発揮し、地域社会の中で共に生きていくための叡智であり、文化再生のツールです。

協議会の皆さまのお力で、うつくしまふくしまの文化の再生をしましょう。

ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

最後に、10年間UDフェアを継続てきに取り組まれてきた関係者のみなさま、お疲れまでした。ユニバーサルデザインという言葉を県民に広げた功績は大きいと思います。